

【羽黒地域】 門前町歴史まちづくり推進事業

【事業年度：H29～】

取組みの背景や経緯

歴史的風致維持向上計画の重点区域である羽黒手向地区は、神社仏閣と古くから続く宿坊の営み等が良好な歴史的風致を形成している。

平成29年度以降の宿坊街まちなみ景観形成事業の実施により、宿坊街として趣のある景観が形成されつつあるが、宿坊街エリアに観光資源をつなぐ魅力的なスポット等がないことから、羽黒山を訪れた観光客が宿坊街を回遊しておらず、観光客の滞在時間と消費額拡大に繋がっていない。

事業概要

1. 手向地区まちなみ景観形成事業
まちなみ景観を保全形成するために、一定の条件を満たす建築物等の修景整備に対して補助する。
2. 門前町歴史まちづくり活動支援事業
 - ・出羽三山魅力発信協議会への事業補助
手向地区の銘菓や精進料理の1つである胡麻豆腐など地元の特産物を販売するマルシェイベント「手向門前市」ほかまち歩き等、魅力発信に繋がるイベントを開催する
3. 手向地区まち歩きサイン設置事業
 - ・景観プレート設置事業
修景整備した物件に、景観整備プレートを贈呈、設置する
 - ・宿坊街まち歩きサイン設置事業
宿坊街の趣きある景観や建造物を説明するサインを設置し整備されたエリアのまち歩きの促進に繋げる。

事業効果と今後の展望

■事業効果

まちなみ景観形成事業では、8年間で50件の整備が実施され、手向まちづくり協定同意者へのアンケート調査では、「景観が向上した・地域への愛着や誇りが高まったと感じる」と回答した方が7割を占め、景観への意識の変容が伺えた。また、手向門前市や講演会への地域住民の参画も増え、住民一人ひとりの当事者意識の醸成にも繋がっている。

■今後の展望

まちなみ景観を後世に残すべく手向固有のまちなみ景観形成を引き続き支援するとともに、世界の持続可能な観光地TOP100選に選定されたことを契機に、市と地域が一体となり地域の歴史文化を尊重しつつ、歴史的風致を活かしたまちづくりを推進し「住みたいまち・訪れたいまち」をめざす。



修景整備実施後



実施前



景観整備プレート贈呈式



プレート



手向門前市



まち歩きイベント